



ゆめ通信

2022.11.1. No.124

発行 日本養豚事業協同組合

〒104-0033 東京都中央区新川2-1-10
八重洲早川第2ビル6階

TEL.03-6262-8990 FAX.03-6262-8991

豚枝肉取引規格の改正を有利に運ぶ生産を考える ～我々生産者は改正にどう対処すべきか、 品種・管理の中で有利に大きくさせて 利益に結び付けるために～

(有)みずの代表取締役 水野慎太郎

豚事協20年誌発行に際し、2019年12月に開催された座談会で(公社)日本食肉格付協会の大野高志会長から格付規格改正について力強いお話を聞き、大変心強く思ったことを覚えています。

ここ数年の養豚業界ではネガティブなニュースばかりでしたが、2023年1月からの重量上限引上げには改めて喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

このメリットを我々生産者が最大限享受するために、適切な品種の選定、給餌や飼料の選定なども含めた肥育管理の中での対応方法などを考えてみたいと思います。

ベンチマーキングでは枝重当たりでコスト分析していますが、実際に現場でかかるコストは、ワクチン・出荷運賃・屠畜経費と1頭当たりでかかってきますので、生体120kgから125kgまでの5日間(枝重3kg)は、ほとんどコストのかからない「おいしいゾーン」と言えます。このバックストレートを走り抜ける種豚を選択することがこの格付け改正も含めて考えても最も正しい選択となることは明白です。

弊社では、種豚はTopigs、止めオス精液を(株)メンデルジャパンのメンデルデュロックを数年前から使用しております。

成績改善はもちろんのこと、Topigs×メンデルに変更してから一番驚くことは、過去に感じていた出荷直前に増体が減速し、脂肪だけ増えていった頭打ち感が無く、脂肪割合のバランスを保ったまま加速する末脚は目を見張るものがあります。

デュロック精液を使用されている方は、(株)メンデルジャパンへ変更するだけでも、9か月後には効果が確認できますし、種豚TopigsのPS導入から始めても12か月後にはこの感覚を共有できると思います。養豚経営に深く関わる部分ですが、今回の規格改定を機に種豚の変更検討を強くお勧めいたします。

写真は昨年改修した肥育舎です。1つ目は離乳舎から移動直後の65日齢、2つ目は出荷の始まった145日齢です。肥育舎を「20頭×12部屋」、仕切り柵固定・四角いパンの餌箱から、「40頭×6部屋」、中央・丸いパンの餌箱へ改修しました。

その結果、一日の増体重が10g以上改善されました。様々な餌箱を一年間試験設置し、今回は「マシンガンフィーダー」を選択しましたが、豚舎構造や飼養密度、マッシュ・クランブルでの差異等ありますので、餌箱の試験設置・更新をお勧めいたします。

写真からも伝わる通り、弊社はpig infoの飼養密度は常にA判定です(笑)。経営戦略としての希望の飼養密度・求めるDGから逆算して、適した飼料を再考することも非常に大切なポイントです。飼料高騰の中、イメージ通りの増体と要求率をさげられるような栄養効率のよい飼料の選定が経営に直結します。

弊社では、豚事協の指定配合飼料ゆめシリーズを全量使用しております。飼料内容がよく、協同の力でいいものを安く買える仕組み、まさに『良い豚、良いえさ、良い管理』という理念に共感するとともに実感としてよい餌として利用させていただいてお

ります。

また、表1の通り2019年712gから2022年742gとこの4年で30g増と、DGも年々増加していき、これがすべての肥育頭数に増加となっていく訳ですから、言わずもがな飼料選定も重要な要素です。

この格付け改正で唯一のネガティブ要素は、65kgから68kgへ、上物の下限も3kg上がってしまう事です。昨今の繁殖成績の向上により、肥育舎に余裕のある農場は少ないと思います。小貫出荷を増やさない取り組みを進めておくうえでも、1頭ずつの計量はもちろんのこと、先に記した種豚・餌箱・飼料の見直しは急務となっていると思います。

今回の改正でせっかく頂いたチャンス（おいしいゾーン）をひとつひとつ現場での改善を続けてこの改正を生かしきって経営利益を増大させていくことも、何も対応せず改正を生かしきれずにその得られるはずだった分の利益を殺してしまうのも我々生産者次第ではないかと思う次第であります。

是非とも豚事協にかかわる組合の皆様にはこの26年ぶりの規格改正という時代の変化に「乗っかり」、取り巻く環境の非常に厳しい荒波にもまれる養豚経営を共によい方向へ「乗りこなして」いければと祈るばかりです。

最後になりましたが、今回の規格改正までに尽力いただいた先輩経営者の皆様方に心より感謝申し上げます。



写真① 肥育舎 離乳舎から導入直後の65日齢



写真② 肥育舎 出荷が始まった145日齢

表1 (有)みずの成績データ
(宮城県登米市 母豚600頭一貫)

web pigs (2月末締め)								
	繁殖成績			肥育成績				
	総産子数	生存産子数	離乳頭数/腹	要求率	農場要求率	平均枝量	平均肥育日数	DG
2022	15.40	13.66	12.52	2.56	2.97	77.7	160.4	742
2021	15.56	13.65	11.92	2.57	3.04	77.9	161.4	734
2020	14.32	12.85	11.40	2.47	2.91	77.6	161.7	734
2019	13.53	12.07	11.02	2.61	3.06	78.1	167.6	712

※2022年は8月末までのデータ

今号より掲載しきれなかった写真や図表を補足して掲載いたします。下記QRコードを読み取っていただくと、日本養豚事業協同組合の公式HPに行きますので、そちらで確認できます。なお、このページは組合員様限定となっております。よろしければご確認お願い致します。



(株)メンデルジャパンのメンデルデュロック精液の有用性

株式会社メンデルジャパン 日本養豚事業協同組合 事務局編集部

今回は当組合の賛助会員でもある(株)メンデルジャパンよりご提供いただいている高品質なAI用精液「メンデルデュロック」についてのご案内です。

① 飼料要求率の改善で飼料コストを抑えることができます。

飼料高騰の中で飼料要求率の改善の重要性がますます高まっています。メンデルデュロックの増体と飼料要求率に優れた精液を利用してコスト削減に取り組んでください。

参考事例として表1「やまびこ会成績」をご覧ください。飼料要求率の改善は、農場経営の改善につながります。

② 枝肉取引価格の改定にも対応した肉質の評価基準

◎メンデルデュロックの育種改良

2023年1月より24年ぶりに枝肉取引規格の改正が行われます。これに伴い各等級の範囲を、上限・下限ともに3kgずつ引き上げられることになり、「上」規格の重量は現在の65kg～80kgが68kg～83kgとなります。背脂肪厚については据え置きとなり、「上」の上限は24mmです。出荷直前の時期、産肉能力の改良が進んでいない豚では赤肉よりも脂肪が付きやすく、厚脂で格落ちになるリスクが高まるほか、飼料要求率も悪化します。メンデルジャパンは、2018年より増体・飼料要求率を中心に肉質は維持する改良を進めている為、規格改定にも適合したものとなっております。

③ 防疫体制・検査体制を妥協しない徹底した品質管理

○防疫対策

2022年7月より小動物の侵入を防ぐ為、メンデルジャパンの農場では高さ2mの豚舎全体を覆う新しい擁壁を完成させ、防疫面の強化を行いました。

○検査体制の徹底

モニタリング検査を高頻度を実施して、疾病の清浄状態を確認しています。また管理獣医師の定期訪問によりバイオセキュリティのチェック体制を構築しています。例えば、PRRSにつきましては、年間580頭のモニタリング検査を行っております。

●終わりに

現在、日本養豚事業協同組合ではメンデルデュロック精液は多くのご支持をいただきまして年間20万本の共同購入されております。飼料高騰、規格改正のこのタイミングで経営の見直し、品種や管理の見直しをしてみたいかがでしょうか。お問い合わせは事務局までお気軽にお電話、メールでお待ちしております。



メンデルデュロック×WLの枝肉



新設の2mの擁壁

表1 やまびこ会成績優秀農場の成績

2021年1月～2021年12月の平均成績							
農場	A農場	B農場	C農場	D農場	E農場	F農場	平均
出荷日齢	160.8	158.2	159.6	156.3	163.4	150.1	158.1
飼料要求率	2.6	2.62	2.79	2.61	2.62	2.78	2.67



20年を経過したやまびこ会ベンチマーキング

(継続は力なり)

日本養豚事業協同組合 前・理事長・やまびこ会会長
稲吉 弘之

1995年イギリス養豚農家を視察、500戸の養豚家がベンチマーキングを実施していたのを、目の当たりにしていずれ日本でもこうした事が出来たら素晴らしいなと思った。

やまびこ会を結成して5年後から当時の日本配合飼料(株) (現在のフィード・ワン(株))のご協力で、ベンチマーキングを実施して20年を経過した。

やまびこ会の成績が全体的に比較的良いのは、高能力種豚Topigs、メンデル精液の導入、長年に亘る富山の山本先生のコンサル、定期的な研修会等の実施。こうした要因もさることながらベンチマーキングによって参加者が、自分の立ち位置を知り、お互いに切磋琢磨してきた効果も大きいと思われる。

現在の状況をお知らせする事によって我が国のベンチマーキングの発展に些かなりともお役に立てばと思ひ筆を執った。

※赤字はJASVベンチマーキング
 2021年中央値

2012年→2022年 (7～6月)
 やまびこ会参加者19農場平均
 数値は表1を参照
 比較は2012年 / 2022年で対比

1. 繁殖成績 図①参照

- ① 1腹当たり総産子数 (14.4頭)
 平均11.7頭から15.6頭へと3.9頭増加した
 10年間で33%アップ
- ② 1腹当たり生存産子数 (12.93頭)
 平均10.5頭から14.1頭へと3.6頭増加した
 10年間で34%アップ

- ③ 1腹当たり離乳子豚数 (11.27頭)
 平均9.8から12.5頭へと2.7頭増加した
 10年間で28%アップ
- ④ 年間母豚当たり離乳頭数 (26.4頭)
 平均22.5から29.1頭へと6.6頭増加した
 10年間で29%アップ

2. 肥育成績

- ① 年間母豚当たり出荷頭数 (23.6頭)
 20.88頭から26.76頭へと5.9頭増加した
 10年間で28%アップ
- ② 年間母豚当たり枝肉出荷重量
 1,583kgから2,058kgへと475kg増加した
 10年間で30%アップ (1792.5kg)
- ③ 農場要求率
 3.16から2.85へと0.31向上した
 10年間で9%数値向上
- ④ 離乳後事故率 (6.82%) 図②参照
 7.55%から8.27と0.72%悪化した

繁殖部門の成績

やまびこ会メンバーと、飼料特約店湯浅商事(株)の共同経営による高能力種豚TopigsのGPセンター、東海ブリーディング(株)の設立により、Topigs・PSの導入比率が年々高まった結果この10年間で各部門の数値が約30%前後向上した。

JASVのベンチマーキング平均値と比較してもよいといえる。

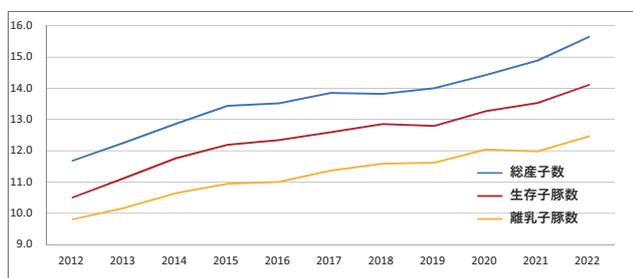
最近10年間の稼働母豚1頭当たりの出荷頭数の推移

表1の通り参加者平均20.88頭から26.76頭と7頭(28%アップ)となった。

表1 やまびこ会この10年間の平均成績 07月～06月基準

繁殖成績	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	10年間の変化
農場数	13	14	15	15	15	15	17	12	19	19	19	6
成メ♀平均稼働頭数	236	234	234	226	226	216	204	211	193	196	203	-33
一腹当り												
総産子数	11.7	12.3	12.9	13.4	13.5	13.9	13.8	14.0	14.4	14.9	15.6	4.0
死産子豚数	1.2	1.1	1.1	1.3	1.2	1.3	1.0	1.3	1.2	1.4	1.5	0.4
生存子豚数	10.5	11.1	11.8	12.2	12.3	12.6	12.9	12.8	13.3	13.5	14.1	3.6
離乳子豚数	9.8	10.2	10.6	10.9	11.0	11.4	11.6	11.6	12.0	12.0	12.5	2.7
死産発生率(%)	10.0	9.2	8.6	9.4	8.7	9.2	6.8	8.6	8.6	9.0	9.9	-0.1
哺乳子豚斃死率(%)	6.5	8.1	9.2	9.9	10.9	9.3	9.5	8.9	9.0	10.9	11.2	4.7
分娩回転率	2.30	2.32	2.34	2.35	2.31	2.32	2.37	2.33	2.33	2.32	2.33	0.0
分娩率(%)	79.9	84.2	86.8	86.1	85.4	85.1	86.5	86.3	85.9	84.7	88.1	8.3
年間成メ♀廃用率(%)	49.5	56.0	49.1	49.4	48.5	50.2	45.0	51.0	44.3	39.0	48.9	-0.5
年間離乳子豚数	22.5	23.6	24.9	25.7	25.4	26.4	27.4	27.0	27.4	27.8	29.1	6.6
肥育成績												
年間肉豚販売頭数	60,379	66,441	72,509	75,598	77,311	77,808	82,888	61,869	75,271	89,904	99,750	39,371
(肉豚販売平均体重 k g)	118.4	118.7	118.7	119.4	119.6	120.5	120.1	118.3	117.7	118.6	118.2	-0.1
枝肉販売重量(k g)	352,377	360,555	393,645	384,896	394,380	399,767	375,538	396,336	413,334	364,866	403,462	51,085
(枝肉販売平均体重 k g)	75.8	75.9	76.0	76.4	76.5	77.1	77.1	77.1	76.5	77.0	76.9	1.1
年間子豚・肉豚販売・繰出頭数	62,145	69,207	75,293	78,923	81,653	80,922	86,915	59,608	78,620	94,588	104,857	42,712
(全平均体重 k g)	118	117	117	117.7	116.4	118.1	117.0	115.3	114.6	117.0	116.5	-1.6
出荷日令	185.6	187.2	187.4	185.4	185.9	180.9	172.1	171.5	174.7	167.8	177.3	-8.3
上物率%	52.7	53.3	54.6	55.9	58.4	59.2	60.2	62.1	61.1	62.1	63.5	10.8
肥育要求率	2.66	2.61	2.56	2.55	2.51	2.51	2.50	2.50	2.53	2.49	2.40	-0.25
0-110 k g 換算要求率	2.54	2.52	2.45	2.44	2.42	2.39	2.35	2.40	2.42	2.40	2.33	-0.21
農場要求率	3.16	3.09	3.01	3.01	2.97	2.98	3.06	2.97	2.98	2.97	2.85	-0.31
離乳後斃死率(%)	7.55	7.29	8.35	12.18	9.94	10.39	8.38	7.07	6.54	7.11	8.27	0.7
成メ♀1頭当り年間販売頭数	20.88	21.92	22.94	22.63	23.03	23.78	24.74	24.53	25.68	25.91	26.76	5.9

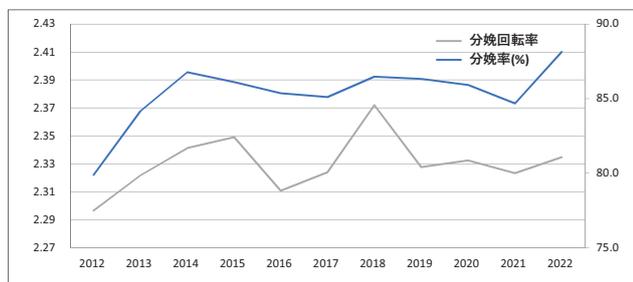
図① 繁殖成績の推移



図② 離乳後斃死率推移



図③ 分娩回転率、分娩率推移



図④ 出荷日齢推移



19年、20年の出荷頭数が減少しているのは、参加者の5戸において豚熱が発生した事による。

農場飼料要求率の推移

図⑤の通り、この10年間で9%改善された。これはメンデルの精液の効果と、飼料の見直しである。改良された豚に合うリジンの強化と、最新のアミノ酸バランス、特にトリプトファン単体添加も視野に入れた配合の見直しによって着実に飼料要求率は改善された。飼料要求率改善による経済的効果は大きい。

10年間の対比でみると、

2012年の農場飼料要求率

$$\text{肉豚}120\text{kg} \times 3.16 = 379.2\text{kg}$$

2022年の農場飼料要求率

$$\text{肉豚}120\text{kg} \times 2.85 = 342.0\text{kg}$$

その差は37.2kgなので、

$$37.2\text{kg} \times 50\text{円} = 1,860\text{円/頭}$$

$$37.2\text{kg} \times 70\text{円} = 2,604\text{円/頭}$$

となり、飼料価格が50円/kgの時は1頭当たり、1,860円の差になるが、現在のように飼料価格が70円/kgと高騰した時は2,606円と大きなコスト差になる。

(有)マルミファームの成績の良い理由

((有)マルミファームのベンチマーキングの詳細の数値は前号No.123 P10、11に掲載していますのでご参照ください(編集者-注))

この20年間で1位が17年間、2位が3年間と総合成績が安定している。この理由は

1. 農場のグランドデザイン

繁殖部門と肥育部門が川と道路を挟んで分離しており、距離は短いが一応2サイトとなっており管理者も分けている。

2. 分娩舎と離乳舎は部屋ごとのAI/AOと、肥育舎は棟ごとのオールアウトが守られている。
3. ピッグフローがしっかり確立している。
4. 2014年にPRRSが陰性化できた。
5. 農場スタッフが優秀である。

販売価格

参加者19名の2021年7月から2022年6月までの税抜き手取り平均価格は463円と決して高くない。当地域は出荷手数料(屠場料金)が枝肉1kg当たり52円と高いのも一因である。

販売を一元化する事も試みたが、それぞれの過去の取引の因果関係もあり中々難しい。

一部を「夢やまびこ豚」のブランドで地元スーパーと、上限、下限価格を決め相場の10円高で取引をしているが、最近の高い相場から見ると売り負けしている。

まとめ

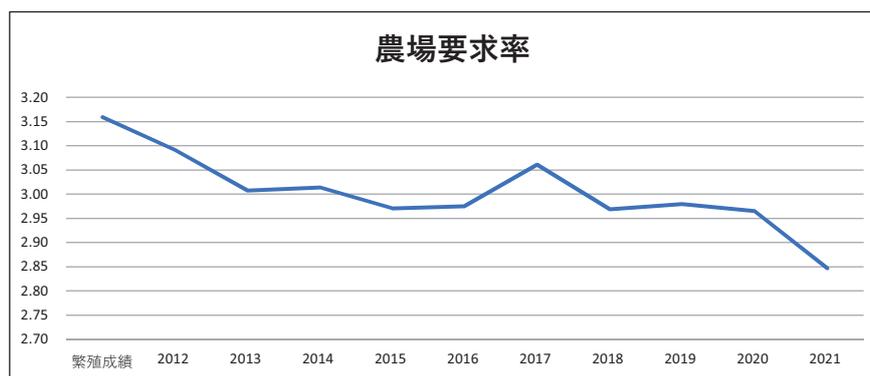
ベンチマーキングの最大の問題点は、如何に正確な数値を期限内に集められるかという事である。一定地域の中で20年継続してきても関係者の苦勞が多い。

それと全国的にも問題となっている成績の二極化である。例えば総合成績上、中、下に分けて母豚1頭当たり年間出荷頭数をみると、29.9頭：28.3頭：22.8頭と大きな差になっている。

今後は成績の悪い養豚場をどう底上げしていくかが大きな課題である。

(ベンチマーキングに関しては前号No.123にてP4～P11までとりあげています。)

図⑤ 農場要求率推移



連載 若夢会「Boys, be ambitious!」

やっと開催！ 第1回若者が夢を語る会



若夢会発起人 副理事長 山本 孝徳

令和2年1月の理事会に若夢会の開催を提案し承認を頂きました。丁度この頃新型コロナウイルス感染症が中国で蔓延しだした時であったように記憶しています。当初は同年4月に開催しようと準備を進めて参りましたが、感染状況は好転せず何度も延期となりました。この間、リモート開催を事務局からは提案されましたが、私は対面での開催でなければこの会の意味は無いとの思いから拒否。今年5月のGW明けに7月なら参議院選挙があるので緊急事態宣言は出されないだろう！というご助言を松村理事長から頂き、半ば強行ではありましたが7月1日～2日にやっと開催することが出来ました。30～40名程の参加者を予定し会議室を借りましたが、51名もの参加希望があり嬉しい悲鳴と感染対策が危惧されました。懇親会も行いまして、これまたぎゅうぎゅう詰めで参加の皆様には窮屈な思いと、これで感染対策してるの？という不安を持たせてしまった事をお詫び申し上げます。

参加者アンケートには、講演・パネルディスカッション・懇親会を通して大変勉強になりやる気パワーが高まった、これまで他農場の方との交流が無かったのが非常に有意義な時間だった、刺激になった等のご感想を頂きました。私が若かりし頃、全豚会議に初めて参加した時、豚事協青年部（現在は発展的解散）の集まりに感じた事を今回参加の皆様が感じて頂いた事を嬉しく思います。目的達成!!といったところです。

また、今回の参加者を対象にクローズドSNSによる情報共有出来る専用ソフトを利用していつでも情報交換出来るように体制を整えて参ります。少々時間を要していますが今しばらくお待ちください。

最後になりますが、今回ご講演頂いた(有)石上ファームの石川様、(有)みずのの水野様、(有)サイキの齊木様、前向きな夢のあるご講演で私も含め参加者一同勉強になりましたし大いなる刺激を受けました。ありがとうございました。

今後若夢会は年1回の開催を予定し地方開催も含め計画して参ります。この会は組合員外の農場の方も対象にしています。お近くの農場の後継者、従業員の方々をお誘い頂けると幸いです。来年も若夢会で夢を語り合いましょう！



写真① 青年部ドイツ研修時に参加して



写真② JPPA第二回俺豚イベント青年部長として



写真③ 豚事協青年部幹部会にて

連載 若夢会「Boys, be ambitious!」

「山を育てるために豚を飼う」 いつかは国産飼料の生産・ 購入で社会問題解決 の糸口へ



有限会社農山畜産 農山 文康 (29歳)

私は就農5年目、父の経営する有限会社農山畜産(モンヴェール農山)の養豚部に所属しています。弊社は「山を育てるために豚を飼う」という経営理念のもと50haの檜の森と母豚300頭の一貫経営を行っております。山を育てることで新鮮な空気や水を豚に与え、豚の堆肥は山に還元し、木々はさらに成長するという独自の循環システムを構築しています。また、モンヴェールポークとして自社での加工販売を行っています。

今回、「若者が夢を語る会」は養豚業界の仲間と学ぶ機会があるということで参加させて頂きました。多くの方がそうであったように私もコロナ渦の影響を受けておりましたので、オフラインで、直接顔を合わせて養豚農家とお会いするのが久しぶりでした。実際に参加させて頂き、有限会社石上ファームの石川様、有限会社みずのの水野様、有限会社サイキの齊木様、講演された3名の方々のそれぞれの体験談(成功体験や失敗など)を、これから私自身が歩いていく今後の養豚業界や私の住んでいる地域は「どうなっていくのだろう、どうしていきたいか」とワクワク、ドキドキしながらお話を聞かせて頂きました。夢を語る会で実際に一人一人の夢を聞いて、私自身もっと夢を具体化しバックキャスト思考で「いつまでに」「何を」「どうする」と考えるようになりました。

さらに今後は実際に夢を叶えて仲間たちと語れるようになりたい!そう思いました。

●今の夢

① 国産飼料の生産、購入

私は熊本県水俣市で生まれ育ち、自然や環境問題について興味がありました。現在養豚業では多くの

輸入飼料を使っています。現状では地域の社会課題(耕作放棄地や農家の後継者不足、所得の向上など)、地球規模での社会課題(人口爆発による食糧不足、バーチャルウォーターや温室効果ガスなどの環境汚染)を抱えています。それに対して、地域での飼料用米や子実用とうもろこしの生産や地元農家から飼料を購入することで養豚業を通して同時に社会課題を解決する糸口を見つけ出し、今を生きる私たちだけでなく、過去にこの地を耕した人、そしてこれから未来を生きる人達が時代を超えて幸せにできる取り組みを行っていきたいと思っています。



写真① 農場にて

MONT-VERT

モンヴェール農山

弊社ロゴマーク



写真② 販売している現在の商品

② 働きがい

モンヴェール農山では、同敷地内に併設されたレストラン、BBQハウスでもすぐにモンヴェールポークを召し上がって頂けるようになっています。自分達で育てた豚を自分達で加工、販売するのは手間がかかりますが、その分お客様から「美味しい!」「いい場所だね」とお褒めの言葉を直接頂けるのは喜びであり、やりがいです。

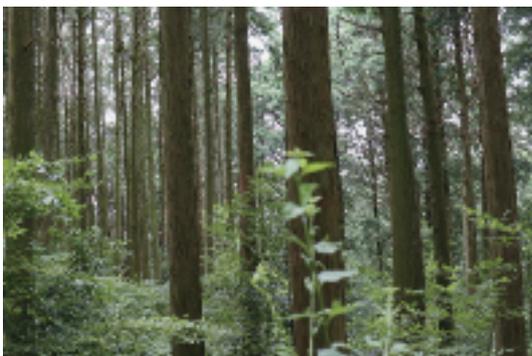
このような弊社の理念や環境を共有していくなかで、一緒に働いてくれるスタッフやその家族、地域の方々にモンヴェール農山があってよかった! そう思ってもらえるような会社にしていきたいです。

●最後に

これからの養豚業界を担う者として、環境問題や社会課題に真摯に向き合い、その解決のためにはまず生産基盤としての生産効率や生産成績が重要になってくると思います。

まだまだ課題が多い弊社ですが、その一つ一つが弊社にとっての伸び代だと捉えています。

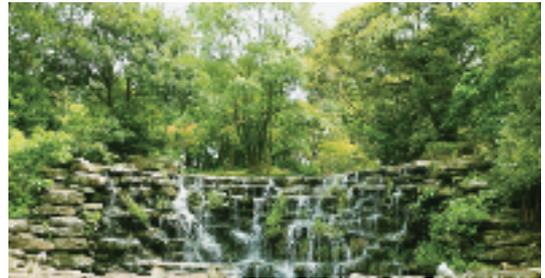
私自身養豚に携わるようになってから5年と豚でいえば哺乳子豚のようなものだと思っています。一刻も早く離乳し、肉豚へと大きくなれるように弊社スタッフとともに管理獣医師の大井宗孝先生や日本養豚事業協同組合の組合員の方々から多くのことを学んでいきます!



写真③ モンヴェール農山檜の森



写真④ 弊社加工場



写真⑤ 弊社社長の手作りの滝



写真⑥ 弊社モンヴェール農山レストラン



写真⑦ レストラン内部

若夢会通信アプリ「BAND」の運用を開始します！

今回利用する「BAND」は、通信アプリ「LINE」を運営するNAVER社のアプリケーションで、参加者を限定できることで、セキュリティやプライバシーを保護できる非公開型のSNS（ソーシャルネットワークサービス）です。2022年7月1日、2日に開催された「第一回若者が夢を語る会」に参加された方を限定に運用を開始することが正式に決定いたしました。

参加された方には11月中旬をめどに、事務局より案内のメールをお送りいたします。積極的なご参加お待ちしております。

BANDで出来ること 掲示板機能

**お知らせを簡単に投稿！
コメント&いいねで返信も完璧**

メンバーへの大事な連絡は掲示板に投稿しましょう。
文字だけではなく、写真・動画やファイル添付、投票など、状況に合わせて様々な機能を活用すると簡単にやりとりができます。



トーク機能

個人的な連絡は気軽にトークで

トークを使って一部のメンバーだけでなく全員とやり取りが可能です。トークでも写真やファイル送信はもちろん、音声通話やビデオ電話もご利用いただけます。



アルバム機能

大切な思い出はアルバムでシェア

グループの写真をアルバムへシェアしたり、イベント毎に整理ができます。保存期間の制限はないので、アルバムの写真はいつでもダウンロードできます。



すべてのデバイスで無料利用可能

スマートフォン、タブレット、PCなどすべてのデバイスで無料で使用できます。スマートフォンはBANDアプリをインストールして、PCでは <https://band.us> へアクセスして使用できます。

招待された人だけが参加できる安全な空間

BANDは公開タイプを設定できるので、「秘密」設定にすると招待を受けたメンバーだけが参加でき、グループの内容も外部に公開されません。また、BANDは情報保護に関する国際認証SOC2.3とISO/IEC27001を取得している安全なサービスです。



●詳しい機能はこちらからご確認ください。

<http://m.site.naver.com/oVqsC>

※利用はスマートフォン、パソコンどちらからでも可能です。



賛助会員のご紹介

あすかアニマルヘルス株式会社

～動物の健康と食の安全を守ることにより、人と動物が共生できる社会づくりに貢献する～

会社概要

設立／2013年6月10日（2014年4月1日営業開始）
 資本金／1億円
 代表者／代表取締役社長 山口文豊 (Yamaguchi Fumiyooshi)
 所在地／〒108-0023 東京都港区芝浦二丁目15番6号オ
 アーゼ芝浦MJビル4F

事業内容：動物用医薬品、動物用医療機器、飼料及び飼料添加物、試薬、農薬、工業薬品、衛生用品、食品及びそれらの原料の製造、販売並びに輸出入

E-mail／AAH-info@aska-animal.co.jp
 URL／https://www.aska-animal.co.jp/

弊社は動物用医薬品事業と動物用飼料添加物事業の二本柱で事業を展開しております。また当社の強みである“繁殖・免疫と栄養”をテーマとして、主力製品の繁殖用ホルモン剤や、アミノ酸などを中心とした飼料添加物や混合飼料、機能性素材の活用により生産性向上と経営改善の一助となるべく取り組んでおります。

特に飼料用アミノ酸については豊富に取り揃えており、今年中にはBCAA（分岐鎖アミノ酸）の1種である「L-イソロイシン」が新たに飼料添加物指定される見込みで、今まで以上に皆様へのご提案の幅を広げて参ります。

飼料用アミノ酸以外にも各ステージ用の混合飼料、飼料効率を改善する酵素製剤、遺伝改良された高能力母豚に対応した酵母製剤、コスト低減が期待できる機能性飼料原料、新規プレバイオティクスなどの製品を取り揃えております。

また、オーダーメイドでのカスタムプレミックスや混合飼料の設計から販売も承っております。皆様のお悩みやニーズに応じた製品を、ご提案させて頂きながら問題解決の一助になれば幸いです。

今後も組合員様のお役に立てるよう一層尽力して参りますので、よろしくお願い致します。



株式会社YE DIGITAL

会社概要

設立／1978年2月1日
 資本金／702百万円
 代表者／代表取締役社長 玉井 裕治
 所在地／〒802-0003 福岡県北九州市小倉北区米町二丁目1番21号APエルテージ米町ビル
 事業内容：ソーシャルIoT
 AI・ビッグデータ分析
 ビジネスソリューション
 サービスビジネス
 URL／https://www.ye-digital.com/jp/

当社は、創業以来、生産自動化システムなど製造業向けのIT、IoTシステムの構築、提供を行ってきたが、近年はその技術を一次産業にむけての製品開発に転用し、農業、畜産現場のIT化、DX化（デジタルトランスフォーメーション）を支援するシステムとして提供しています。

『Milfee（ミルフィー）』は、飼料タンク内の残量を高精度に計測・管理するシステムとして畜産業のDX化を支援するため当社が開発に取り組み、2022年4月に量産品をリリースしました。農場に設置されている飼料タンクの蓋にセンサー端末を設置するだけで残量を計測し、クラウドシステムに残量情報を送信します。Milfeeの特長を3つご紹介します。

- ① タンクサイズ、飼料形状問わず高精度で計測可能
- ② 設置が簡単（標準設置：5分/台）
- ③ 外部システムとのデータ連携が可能

残量を高精度に計測できれば消費量算出や異常の検知にも役立ち、さらには生産管理システムとの連携でデータに付加価値がつくためIoT技術にソフトウェアやクラウドの機能をかけ合わせ、経営指標や経営判断の根拠となる情報を読み取ることで畜産DXを支援する製品としてターゲット用途を広げて参りました。

農林水産省が掲げる飼料流通合理化の実現には残量管理による配送効率化が一つの手段として挙げられており、国、自治体の補助金を活用して導入されるケースなど、「Milfee」が畜産業の発展に微力ながら貢献できていることは大変嬉しく思います。これからの時代に求められる農場管理のサポートシステムとして、また、KPI（重要業績評価指標）策定などの経営ソリューションとして、畜産DXの第一歩となる「Milfee」のポテンシャルにご期待ください。



YEデジタル資料 クラウド画面



設置イメージ

豚事協共同購入資材のご案内

・豚衡機

～コントローラーが充電式のため充電時は本体から取り外せます。
(100Vの家庭用コンセントで充電できます。)～
タイヤ付きのため移動が簡単&測定時はタイヤを収納可能です。～

仕様・タイプ：①肥育用1人開き外寸(タイヤ含む)：幅68×奥行143×高さ106cm
②肥育用2人開き外寸(タイヤ含む)：幅68×奥行146×高さ97cm
③母豚用外寸(タイヤ含む)：幅82×奥行172×高さ116cm

価 格：①②319,000円(税込み・送料別) ③385,000円(税込み・送料別)



・ダミーサウ

～ハンドルで高さが調節できる擬牝台。生地の内側にスポンジを入れてあります。～

仕 様：全幅：約65cm 奥行：約80cm 高さ：570～870cm
価 格：71,500円(税込み・送料別)



・ピッグ-e マット

～コントローラーで簡単に制御できる電気式の床暖房。
日数・開始温度・終了温度を設定すると温度が自動で低下し、適切な温度帯で子豚を哺乳できます(一定温度に保つことも可能です)。
マットはFRP製で表面は滑り止め加工済。スノコ取付け用の金具付。
コントローラー1個でマット2枚の制御が可能。マット・コントローラーともに防水のため洗浄・消毒に最適です。45℃以上になると自動停止し、短絡時には自動遮断する安全機能付。～

仕様・タイプ：マットサイズ・幅37×奥行120×高さ1.7cm
① 単相110V
② 単相220V

セット内容：マット2枚 コントローラー1個
価 格：30,800円(税込み・送料別)



豚事協の年間行事

理 事 会

第 1 0 7 回	令和4年1月20日(木)(東京)
第 1 0 8 回	令和4年2月25日(金)(東京)
第 1 0 9 回	令和4年2月25日(金)(東京)
第 1 1 0 回	令和4年4月21日(木)(東京)
第 1 1 1 回	令和4年6月22日(水)(東京)
第 1 1 2 回	令和4年10月13日(木)(東京)
第 1 1 3 回	令和4年12月8日(木)(東京)

豚事協 ウェビナー

第 1 回	令和4年2月10日(木) オンライン形式
第 2 回	令和4年4月14日(木) オンライン形式
第 3 回	令和4年6月3日(金) オンライン形式

女 性 部

第15回女性部セミナー 未定

そ の 他

海外視察研修 中止

編 集 後 記

* * *

今号よりゆめ通信を担当します、加藤と申します。趣味は料理とお酒にサウナ。食べることが大好きです。そんな私が肉といえば一番好きな豚肉を生産する皆様と一緒に働けることに喜びを感じております。夏場は肩ロースを庭のハーブでマリネした後にロースト、冬は定番のしゃぶしゃぶを自家製ボン酢で…がなによりのご馳走です。合わせるお酒は夏場もちろんビール(今のおすすめは軽井沢ヤッホーブルーイング僕ビール君ビール)、最近友人の柑橘農家から分けていただき、生レモンのサワーが格別。冬はやはり新酒出始めの頃の日本酒です(一押しは福井鯖江市の梵)。担当が変わり不慣れな点がありますが、皆様の寛大な心見守っていただけると幸いです。なお、今回から下記QRコードより毎回アンケートを実施しますので、お気軽にご回答ください。今後は新たな企画や希望のテーマなどございましたら、できうる範囲でぜひとも実現していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。(加)



※青字は令和4年11月1日以降の行事となります。都合によっては変更・中止となる可能性もありますこと、ご了承下さい。